

日時:令和 7 年5月30日(金)10時

場所:複合棟308会議室

5月30日(金) 先達山太陽光発電所工事打ち合わせ

出席者:福島市 環境政策課 富塚、大泉、柳沢、佐藤

吾妻支所 嶋田、井口

農林整備課 吉田、佐藤(修)、長谷川、藤原

都市計画課 佐々木

事業者 amp 奥村組、東芝プラント

旭テクノプラント(管理会社)

①amp報告 P.4、P.5 図面参照

1)工事進捗報告

・緑化工 現在 100%(前回100%)

補修緑化 5 月中旬から 8 月中旬まで

コナラの立ち枯れや支木の交換等を行っている。

・土工 現在 100%(前回100%) *面積 99.7 %

通路の一部が残っている。来月、100%になる予定

・パネル等設備 現在 約 90%、パネルのみ71%(前回85%、パネルのみ55%)

*工事全体95 % (前回91%)⇒ 7 月末完成予定

2 号調節池の浚渫は完了した。

7 月末に受電、経産省の試験に 2 か月、9 月末に運転、10 月末までに引き渡し

9 月末から運用し、旭テクノプラントが管理していく。(変更なし)

2)地元調整など

・濁度計 3/14 設置(金堀沢水路敷占用申請) 奥村組から旭テクノへ運用を変える。

5/14~5/31 で切り替え 6/1 から実施(2 週間調整する)

サイレンは小坂地区と音の調整を行って濁度計の占用を変更して設置する。

・濁度計、サイレン、監視カメラ、水位計は 9 月末までに試験運用

・8 月末に県の林地開発検査予定 変更なし

吉田:5/22(木) 小坂町会 〇〇氏、〇〇氏が来庁した。

金堀沢濁り等の打ち合わせを行った。(発電施設内の側溝の破損、土砂等の堆積など)

これらを原因として金堀沢の濁りがまた発生する恐れがある。

これらの現場対応とあわせ、管理体制や連絡網の整備を行い、地元と協議すること。

amp 〇〇:5/21に地元と現地確認、打ち合わせした。その際、東芝プラントが施工しているところ

で、側溝破損や土砂堆積を確認した。地元指摘のとおり現場対応を進めていく。

5/30(金)午後に小坂地区に説明する。

〇〇氏は県にも同じ話をしていく。県にも説明する。

②確認事項

吉田:環境影響評価のフォトモンタージュ検証の報告はいつ行うのか。

amp 〇〇:もうしばらく時間がかかる。でき次第、協議する。

市や住民から上部の三角形の植樹をリスエストされている。県には協議をおこなって植樹する方向で進んでいるが、投資家の承諾をもらって植樹を進めるようになる。

この決定後、フォトモンタージュへ植栽の反映を行うので時間がかかっている。

植栽の樹高が伸びるのは数年後であり、フォトモンタージュに反映するため、数年後の想定

のフォトモンタージュを作っていく。

吉田:修正後のフォトモンタージュは公表するのか。amp の HP に掲載するのか。

amp 〇〇:未定である。

富塚:現場の問題箇所は別紙 P. 6 のとおりであり、口頭で要請する。

4/24 の現地立会で確認した指摘事項は別紙のとおり、

・芝の育成不良

・排水設備破損、土砂落ち葉堆積

・調整池の土砂堆積、法面洗堀

・排水設備からの跳水による地山崩落

これらの対策を行うこと。

また、金堀沢濁水流出対策の徹底として、

・降雨による掘削土の流入などに留意すること

次回に回答してほしい。

amp 〇〇:排水設備破損、落ち葉対応をすぐに行う。

芝の育成不良については土の酸性が強く活着していない。対応を考える。

東芝 ■■■: 別紙により濁水の対応を進めていく。P.7、P.8
5月下旬から6月下旬に行う。

富塚: 対策時期は、雨の時期に入る。

amp ■■■: 一気に雨が降ると濁りが出ると思うが、こまめに対応を行う。

■■■さんの会は、新聞報道によると、経産省へ FIT 取消と林野庁へ林地開発の取消の要請を行った。

注視する会は、次回開催の調整が決まっていない。

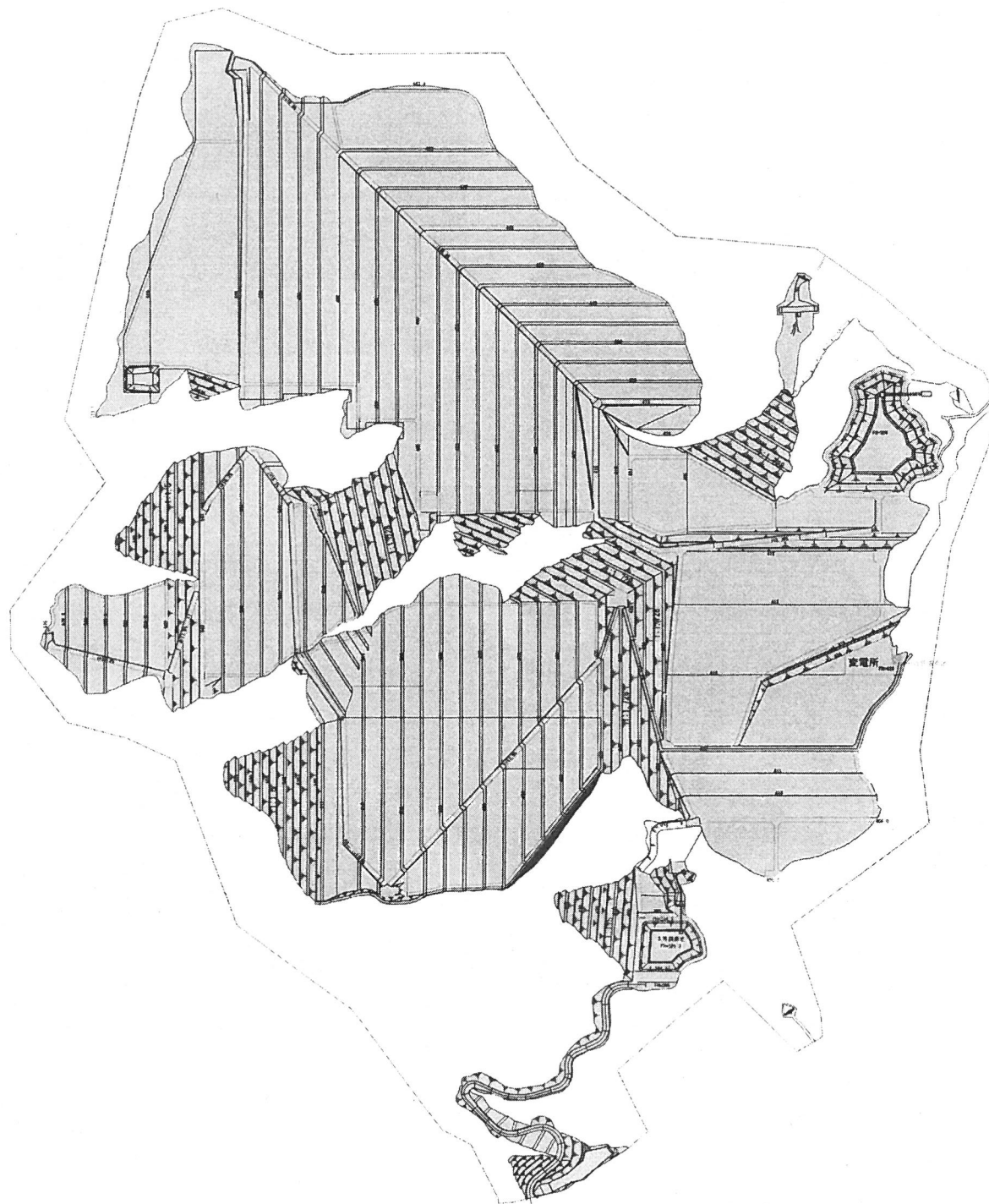
注視する会 HP に、情報開示請求した協定書(お金のやり取り)の地元地区名がそのまま出た。その地区に嫌がらせの電話が来ているため、地区の名前の出すのはやめてほしいと注視する会へ要請した。

■■■さんの守る会で、林地開発の許可取り下げを行っているが、県に対し放流の協議(排水同意)が取れていないという指摘を行っている。

4 号調整池から須川の方に流れる「カラスガボリ」であるが、流出先が県道である。このことについて確認を行いたい。

吉田: 農林整備課管理係に相談してほしい。

以上



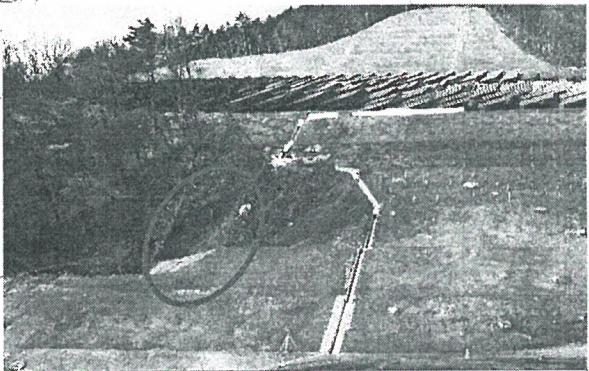
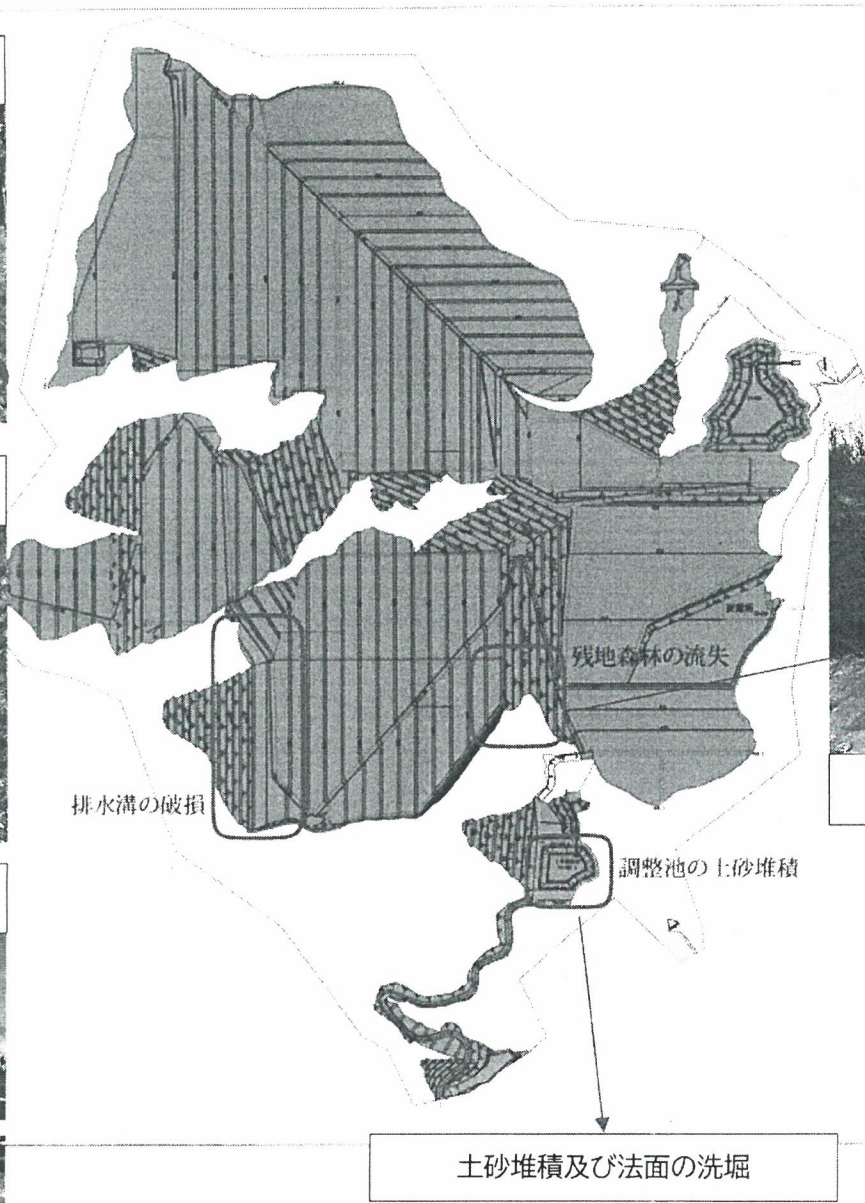
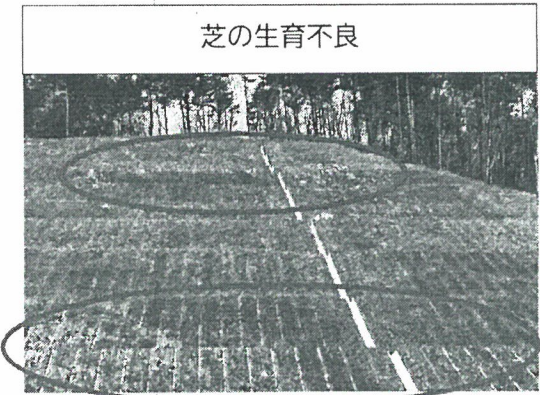
20250529_施工状況

凡例

■ 施工完了

土工進捗率：(面積) 99.7%
(土量) 100.0%

R7.4.24 現地確認結果



排水設備からの跳水による地山崩落

20250423_施工状況

凡例

■ 施工完了

土工進捗率 (面積) 99.7%
(土量) 100.0%

2025年5月23日

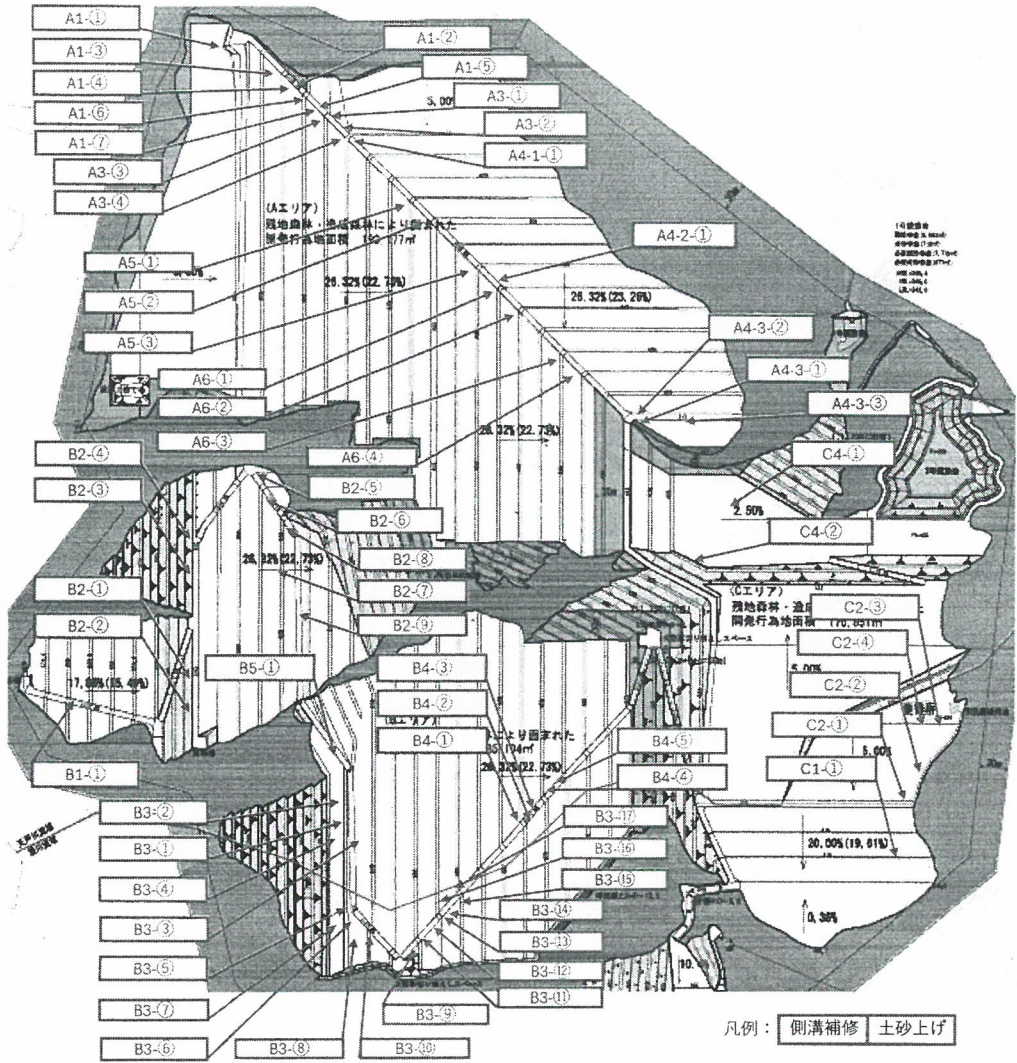
金堀沢濁水流出対策の徹底指示

1・2号調節池の流末は金堀沢となっており、この金堀沢については小坂地区の農業用水として利用されているため、1・2号調節池から濁水が流出した場合農作物への影響が懸念され、地域住民様へご迷惑をお掛けすることとなる。従って、今後の作業に当たっては以下の内容について厳守するよう末端の作業員まで周知すること。

1. 掘削・埋戻し作業に当たっては気象情報を入手し、降雨により掘削土が側溝へ流入しないように施工を進めること。
 - ・ 傾斜部の掘削土については原則掘削部の水上側に仮置きとする。
 - ・ 降雨が予想される場合は降雨により埋戻し・転圧が中途半端な状態とならないように作業ボリュームにより延期等の判断を責任者と相談し、TPSC・一次会社施工管理者の指示に従うこと。
 - ・ 埋戻しについては十分な転圧を行い、地面の土砂流出を最小限に留めること。
2. 掘削土、重機等の通行による側溝へ土砂が流入した場合は、当日の作業終了時に側溝から土砂の排出を徹底すること。
3. 側溝を破損させた場合は、速やかに責任者→一次会社経由でTPSC管理者へ報告を行うこと。
TPSC責任者により補修作業を計画・実施を行う。
4. 一次会社施工管理者については、場内巡視時に側溝への土砂流入、側溝の破損が無いか確認し、TPSC管理者へ報告すること。
また、作業員により上記の発見があった場合も同様にTPSC管理者へ報告が入るよう周知を行うこと。

福島先達山太陽光発電所
雨水排水側溝補修・土砂上げ作業キープラン

R0 2025年 5月29日



雨水排水側溝補修・土砂上げ作業スケジュール												
エリア	側溝は正箇所数			完了箇所数		5月		6月		7月		備考
	合計	補修+土砂	土砂上げ	補修	土砂							
A1	7	2	5	_ /2	_ /5	31	7	14	21	28	5	
A3	4	2	2	_ /2	_ /2							
A4-1	1	1	0	_ /1	-							
A4-2	1	1	0	_ /1	-							
A4-3	3	1	2	_ /1	_ /2							
A5	4	2	2	_ /2	_ /2							
A6	4	2	2	_ /2	_ /2							
B1	1	0	1	-	_ /1							
B2	9	7	2	_ /7	_ /2							
B3	17	6	11	_ /6	_ /11							
B4	5	3	2	_ /3	_ /2							
B5	1	1	0	_ /1	-							
C1	1	1	0	_ /1	-							
C2	4	0	4	-	_ /4							
C4	2	1	1	_ /1	_ /1							